

PRESS RELEASE

思いを、はせる。
長谷工グループ
HASEKO

2025年11月11日

長谷工グループのサステナビリティ活動 東京都主催「東京グリーンシップ・アクション」に参加 清瀬松山緑地保全活動を通して社員の環境意識向上

長谷工グループ（代表企業：長谷工コーポレーション、本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聰）は、11月8日、東京都環境局主催の「東京グリーンシップ・アクション」^(※1) 清瀬松山緑地保全活動に参加しました。

当日は、グループ社員およびその家族36名（うち子供6名）が参加し、東京都環境公社とNPO法人自然環境アカデミー、清瀬の自然を守る会の協力のもと、清瀬松山緑地保全地域^(※2)において、落枝整理、樹木除伐、下草刈りなどを行いました。また、子供連れの家族を対象に、落枝や落ち葉を活用した「クリスマスリース作りワークショップ」を実施しました。

長谷工グループでは、「長谷工グループ生物多様性行動指針」に基づき、環境を守る社会貢献活動の一環として、2012年より東京都主催の「東京グリーンシップ・アクション」に参加しています。今後もこうした活動に継続的に取り組み、自然環境の保全に貢献するとともに社員の環境意識の向上を図り、“大切にしたい風景”^(※3)の実現に努めてまいります。

(※1) 「東京グリーンシップ・アクション」は、東京都に残された山地の森林や丘陵部の里山、市街地近郊の雑木林など貴重な自然環境の保全を目的として2003年にスタート。東京都が中心となり、都内各地域で活動しているNPO法人、環境保全団体、企業や都民が連携して取り組んでいる。

(※2) 清瀬松山保全地域は、東京都清瀬市南西部に位置する平地林で、市街地の中では稀少となったアカマツをはじめ、多種多様な野草・昆虫・野鳥が生息している「自然の宝庫」です。

(※3) 2018年3月に制定した「サステナビリティビジョン」及び「サステナビリティ方針」の下、長谷工グループのサステナビリティが目指す姿として明文化した4つの取り組みテーマ（住んでいたい空間・働いていたい場所・大切にしたい風景・信頼される組織風土）の一つ。住まいづくりにおけるプロセスでの環境負荷の低減を推進するとともに、生物多様性に配慮した活動を行うことにより、より快適で持続可能な地球環境を目指します。

【実施概要】

日 時：2025年11月8日（土）9:40～14:30

場 所：清瀬松山緑地地域（東京都清瀬市、保全指定面積43,356m²）

内 容：
・開会式（開会挨拶、スケジュール説明、集合写真撮影）
・清瀬松山緑地保全地域の解説、自然観察
・保全活動（落枝整理、樹木除伐、下草刈りなど）
・クリスマスリース作りワークショップ（子供連れ家族対象）

参加者：グループ社員およびその家族36名（うち子供6名）

◆参加者コメント◆

- ・自然観察では、清瀬の歴史や保全をする意義などが知れて良かった。
- ・子どもと一緒に活動ができて、有意義な活動になった。
- ・グループ全体で1つの目標に向けて活動し、コミュニケーションも図れて楽しかった。



[樹木除伐・落枝整理]



[下草刈り]



[自然観察・クリスマスリース作りワークショップ]



[集合写真]